

個人投資家様向け会社説明会

東ソー株式会社(証券コード:4042)

広報室長 松岡 克行

2022年6月21日

1. 会社概要
2. 事業概要
3. 株主還元
4. 温室効果ガス排出量削減への取組み

1. 会社概要
2. 事業概要
3. 株主還元
4. 温室効果ガス排出量削減への取組み

<企業理念>

“私たちの東ソーは、化学の革新を通して、
幸せを実現し、社会に貢献する”

<CSR基本方針>

- 事業を通じた社会の持続可能な発展への貢献
- 安全・安定操業の確保
- 自由闊達な企業風土の継承・発展
- 地球環境の保全
- 誠実な企業活動の追求

設立	1935年2月11日
本社所在地	東京都港区芝三丁目8番2号
登記上本店	山口県周南市開成町4560
代表者	栗田 守(くわだまもる)
資本金	552億円



代表取締役社長
社長執行役員
栗田 守

米国 **11**社 欧州 **9**社 アジア **30**社 日本 **59**社

東ソーグループ従業員 **13,858**人(2022年3月末)

南陽事業所

～東ソー発祥の生産拠点～



四日市事業所

～石油化学事業の拠点～



「環境・エネルギー」「ライフサイエンス」「電子材料」を重点3分野
として積極的な研究開発投資を実施

研究人員 約**1,100**人 研究開発費 約**200**億円

南陽事業所

無機材料研究所
有機材料研究所



四日市事業所

ファンクショナルポリマー研究所
高分子材料研究所
ウレタン研究所



東京研究センター

アドバンストマテリアル研究所
ライフサイエンス研究所



※完成後イメージ

ソーダ工業から石油化学工業へ (1935年～)

四日市進出と総合化学へのステップアップ (1971年～)

コモディティとスペシャリティの両軸へ (2004年～)

ハイブリッドカンパニーへの深化 (2014年～現在)

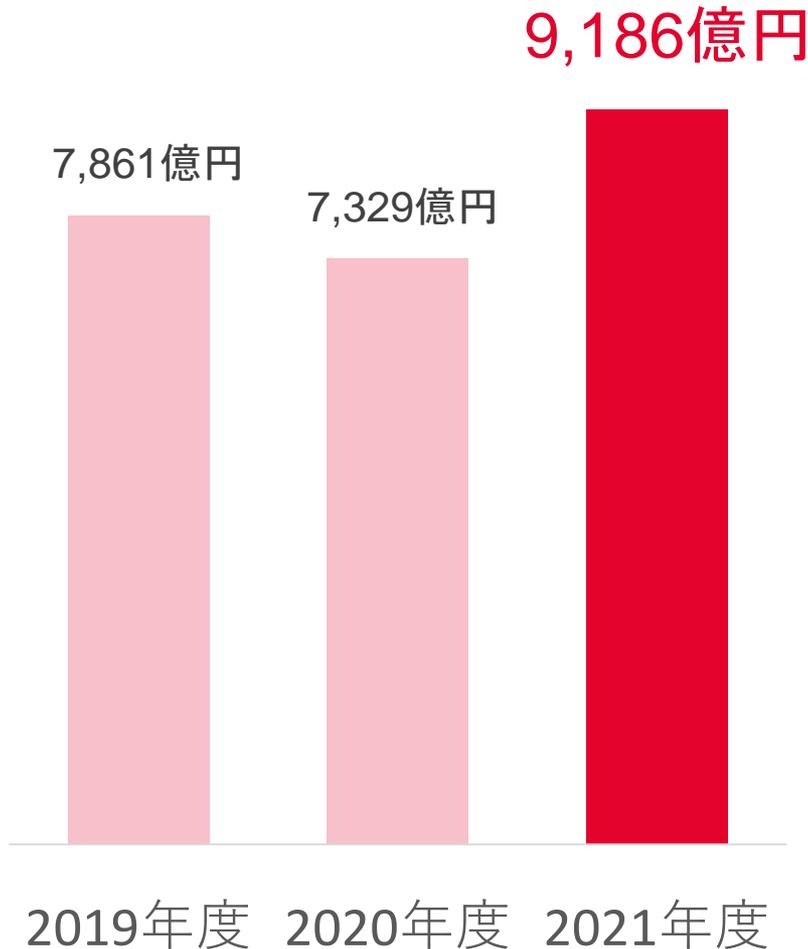
1935年
東洋曹達工業設立

1975年
鐵興社と合併

1990年
新大協和石油化学
と合併

2014年
日本ポリウレタン工業
と合併

2021年度売上高:9,186億円



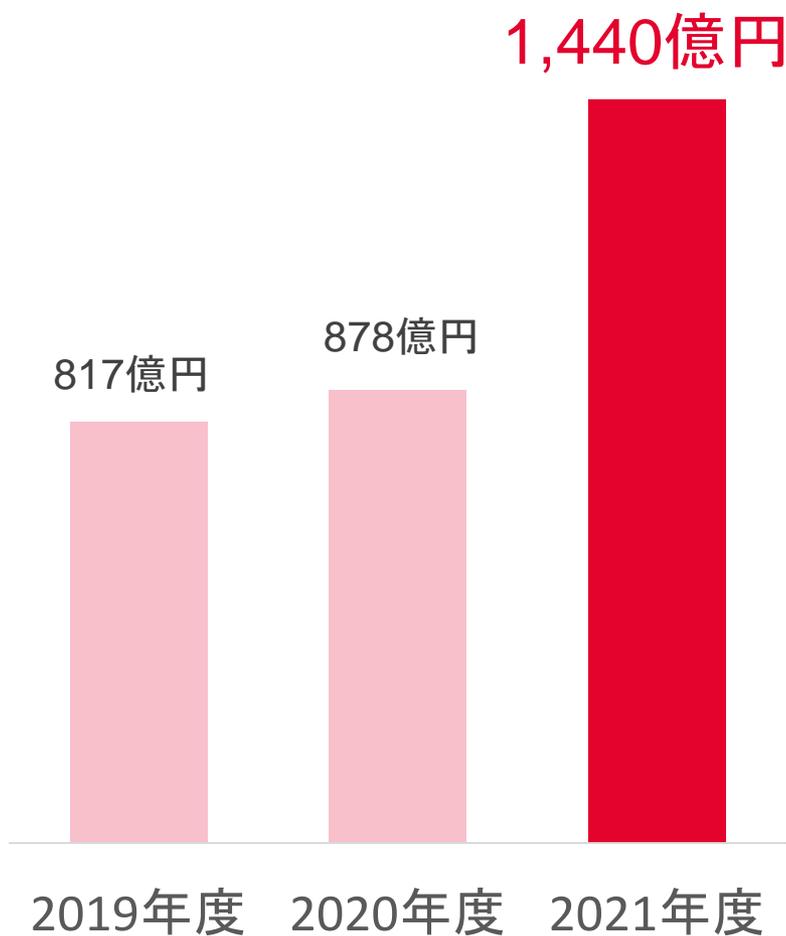
過去最高更新

前年度比+25%

増減要因

- (+)製品の海外市況が上昇
- (+)為替の影響(円安)
- (+)コロナ禍で減少したスペシャリティ製品の需要回復

数量差: +96億円
価格差+1,761億円



過去最高更新

前年度比+64%

増減要因

- (+)製品の海外市況が上昇
- (+)為替の影響(円安)
- (+)コロナ禍で減少した需要の回復
- (+)原燃料価格上昇により在庫受払差が改善
- (-)原燃料価格が上昇

数量差: +171億円
 交易条件: +175億円
 固定費差他: +217億円

2022年度 業績予想

未定

※開示が可能となった時点で速やかに開示します

中期経営計画(2022年度-2024年度)

2022年8月に公表予定



ジルコニア粉末

脆さを解決した画期的なファインセラミックス。優れた強度と審美性から歯科用セラミックス材料、時計等の装飾部品に使用。



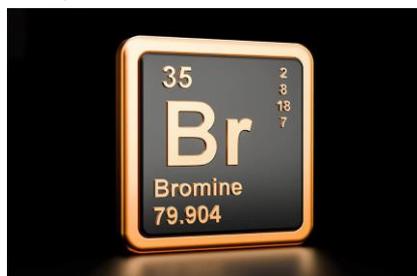
CSM(合成ゴム)

過酷な使用環境に耐え得る特性を有するとともに、明色配合性に優れる特殊合成ゴム。エスカレーターの手すり、自動車用ホース、救命用ゴムボートなどに使用。



臭素

ハロゲン元素のひとつで特異な物性と優れた反応性を有する物質。有機中間体、無機薬品、医薬品、農薬、難燃剤などの原料として使用。



高速液体クロマトグラフィー用カラム

目的成分を物理・化学的相互作用により分離する直径数ミクロンの分離剤をステンレスなどのパイプに充填。医薬品の純度分析、高分子の分子量測定などに使用。



身近な東ソーの製品①



【入浴剤・洗濯洗剤】 重曹、芒硝

【菓子袋・飲料容器等のコーティング材】 低密度ポリエチレン

【壁紙・消しゴム】 ペースト塩ビ

【電子部品】 PPS、難燃剤

【乾電池】 電解二酸化マンガン

【冷蔵庫断熱材】 ポリメリックMDI、三級アミン触媒

【半導体・液晶・メディア用材料(スマホ)】 ターゲット、PPS、HDI等

身近な東ソーの製品②



【建築外装材・防水材】 塗料用ポリイソシアネート

【エスカレーターの手すり】 クロロスルホン化ポリエチレン 等

【プール消毒剤】 高度さらし粉

【自動車用排ガス浄化触媒】 合成ゼオライト

【スタジアムの座席】 高密度ポリエチレン

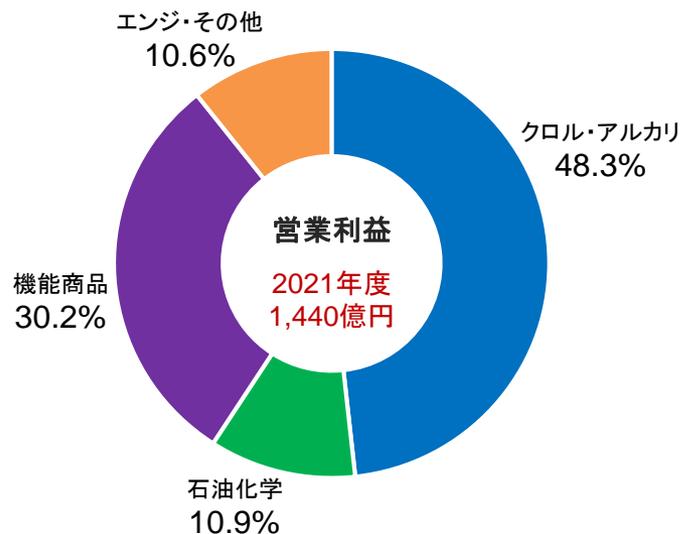
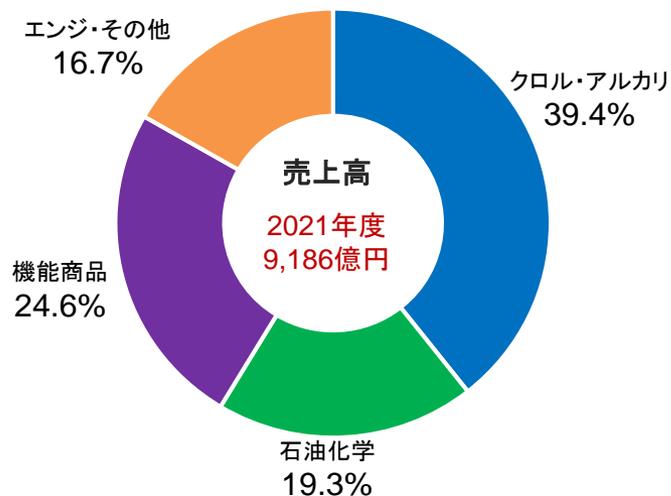
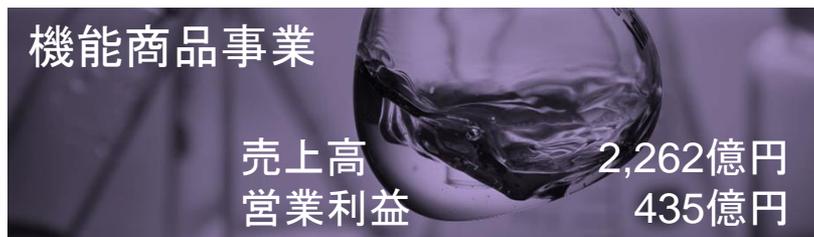
【半導体製造装置】 石英ガラス、炭化水素系洗浄剤 等

1. 会社概要
2. 事業概要
3. 株主還元
4. 温室効果ガス排出量削減への取組み

“コモディティ”と “スペシャリティ”の両軸で

東ソーグループはコモディティ分野を強化し、スペシャリティ分野を拡充させることで、外部要因に影響されにくい事業構造を進めていきます

事業概要 ~事業別売上高・営業利益~





2021年度

売上高

3,616億円

営業利益

695億円

塩の電気分解を出発点にして苛性ソーダ、塩ビ樹脂、
ウレタン原料などの製品を生産



化学品 2021年度 売上高 **2,182**億円
主要製品: 苛性ソーダ、塩ビ樹脂、重曹 等

国内最大の電解設備から苛性ソーダと塩素、そして水素を生産。苛性ソーダ(紙・パルプ、化学繊維、アルミナ用途など)、塩素(塩ビ樹脂、殺菌・漂白用途など)ともに幅広い用途で使用。

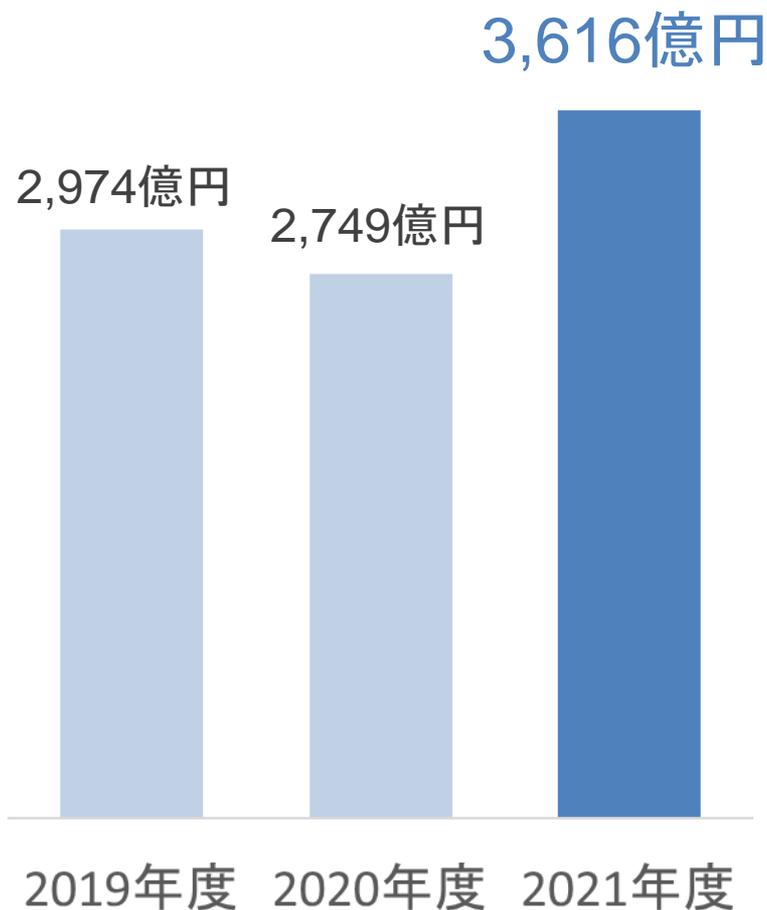
ウレタン 2021年度 売上高 **1,342**億円
主要製品: MDI、HDI 等

ポリウレタンは、自動車、家電、住宅、医療用資材など、多種多様な用途で私たちの生活の身近なところで使用。



セメント 2021年度 売上高 **92**億円
主要製品: セメント

社内外で発生する廃棄物を受け入れ、循環資源としてセメント原燃料に有効活用。生産したセメントは太平洋セメントに販売委託。



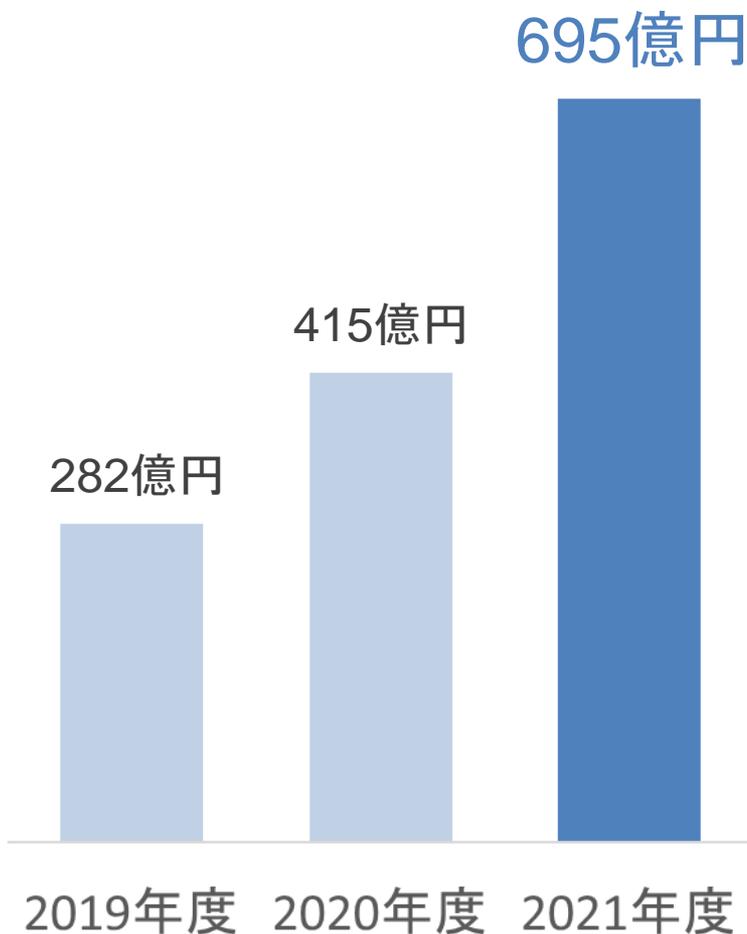
<売上高>

前年度比 **+31%**

増減要因

- (+)ウレタン原料、塩ビ製品、苛性ソーダの海外市況が上昇
- (+)為替の影響(円安)
- (-)工場の定期修繕により塩ビ製品、苛性ソーダの販売数量減少

数量差: ▲69億円
 価格差: +936億円



< 営業利益 >

前年度比 **+67%**

増減要因

- (+) ウレタン原料、塩ビ製品、苛性ソーダの海外市況が上昇
- (+) 為替の影響 (円安)
- (+) ウレタン原料 (MDI) の販売数量増
- (-) 工場の定期修繕により塩ビ製品、苛性ソーダの販売数量減少
- (-) 原燃料価格の上昇
- (+) 原燃料価格上昇により在庫受払差が改善

数量差: +32億円
 交易条件: +138億円
 固定費差他: +110億円

2021年度

売上高

1,772億円

営業利益

157億円



ナフサを分解してエチレン、プロピレンをはじめとした石油化学の基礎原料や、ポリエチレン、合成ゴムなどの誘導品を生産



オレフィン 2021年度 売上高 **1,086**億円

主要製品: エチレン、プロピレン、ベンゼン、キュメン 等

四日市霞コンビナートにあるナフサクラッカーを核に事業展開。エチレン、プロピレン等の石油化学の基礎原料を生産。ナフサクラッカーで生産される各留分を有効活用し、付加価値製品群を拡大。

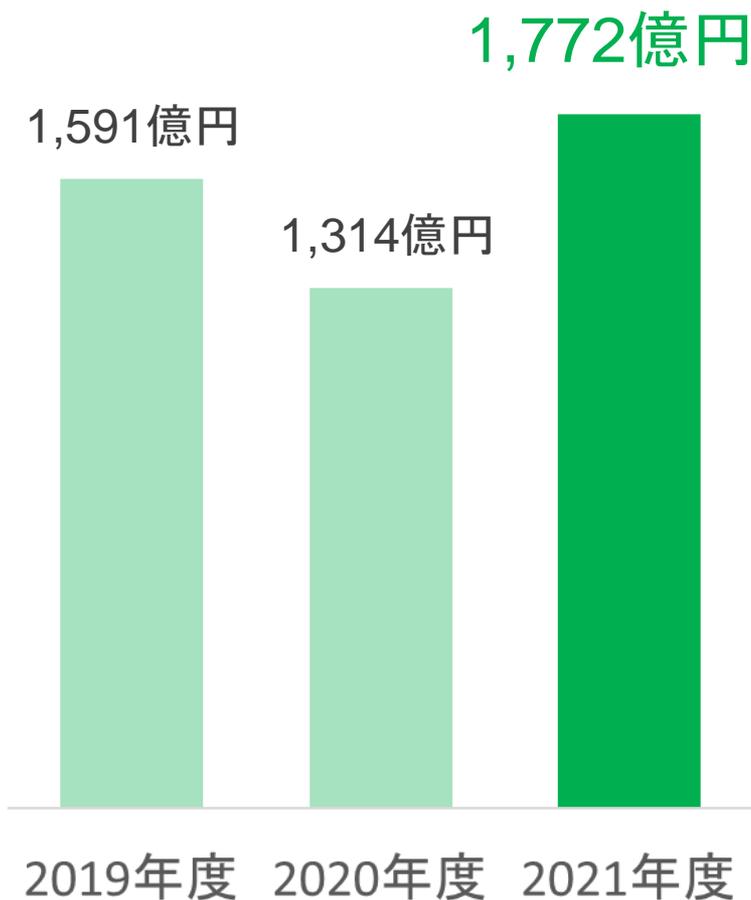
ポリマー 2021年度 売上高 **686**億円

主要製品: ポリエチレン、クロロプレンゴム等

ポリエチレンは、医療分野(輸液バッグや点眼容器)、食品分野(低臭容器やイージーピール材)、半導体関連分野(高純度薬液容器)などの高付加価値用途への販売へシフト。

機能性ポリマーは、自動車分野(金属結合、耐冷熱衝撃材)、医療分野(医療用手袋)などに注力。





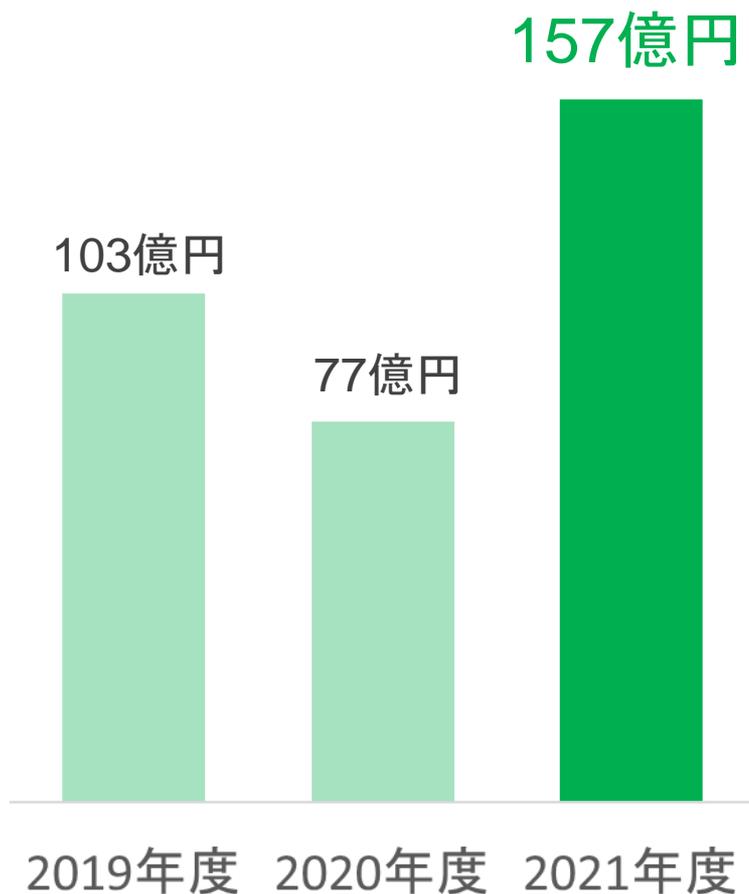
<売上高>

前年度比 **+35%**

増減要因

- (+) プロピレン、キュメンおよびクロロプレングムは需要回復等により販売数量増
- (-) 収益認識会計基準の適用により数量差はマイナス
- (+) オレフィン製品およびポリエチレン樹脂は、ナフサ価格および海外市況の上昇により製品価格が上昇

数量差: ▲165億円
 価格差: +623億円



<営業利益>

前年度比+103%

増減要因

- (+)プロピレン、キュメンおよびクロロプレンゴム等は需要回復により販売数量増
- (+)ナフサ価格等原材料価格の上昇による製品受払差の改善

数量差: +19億円
取引条件: ▲28億円
固定費差他: +89億円

2021年度

売上高

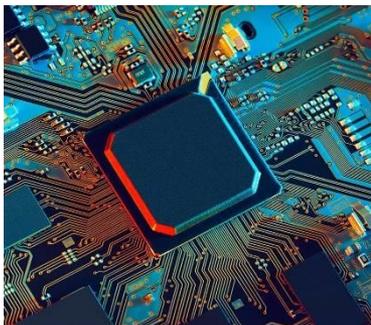
2,262億円

営業利益

435億円



バイオサイエンス（計測分野・診断分野）、**有機化成品**（エチレンアミン、臭素など）、**高機能材料**（セラミックス、合成ゼオライト、石英ガラス、シリカなど）の3領域で付加価値の高い製品を生産



有機化成品

2021年度 売上高 **553**億円

主要製品：エチレンアミン、臭素・臭素難燃剤、環境薬剤等

エチレンアミン、環境薬剤や臭素・難燃剤などの独創性に富んだ製品で事業を展開。アジアで数少ないエチレンアミン、臭素メーカーであるメリットを活かして事業を拡大。

バイオサイエンス

2021年度 売上高 **535**億円

主要製品：液体クロマトグラフ、免疫診断等

液体クロマトグラフ、カラム、分離剤の「計測分野」と、免疫診断、グリコヘモグロビン分析、遺伝子検査の「診断分野」で、製品のラインアップを拡充し、グローバルに事業展開。機器や試薬の開発・製造・販売からメンテナンス、カスタマーサポートまで実施。

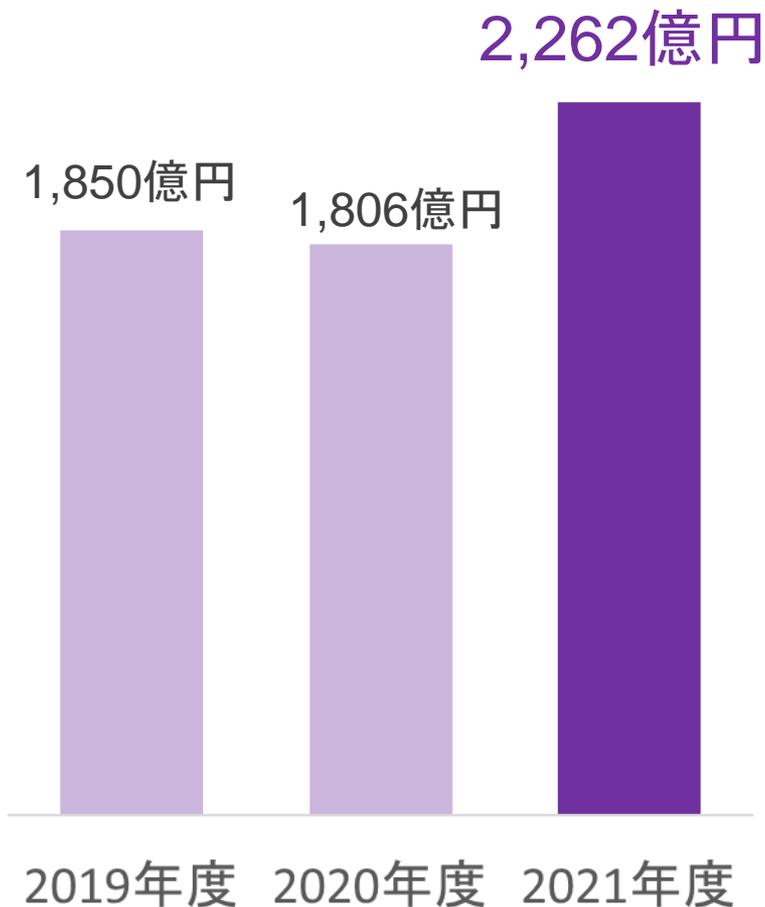


高性能材料

2021年度 売上高 **1,174**億円

主要製品：ジルコニア、ゼオライト、石英ガラス等

高強度ジルコニア(歯科材料、装飾用途)、合成ゼオライト(自動車排ガス浄化触媒用途および石化触媒用途)、石英ガラス(半導体製造装置)やマンガン酸化物(乾電池材料)など、特徴的な機能を備えた製品でグローバルに事業を展開。



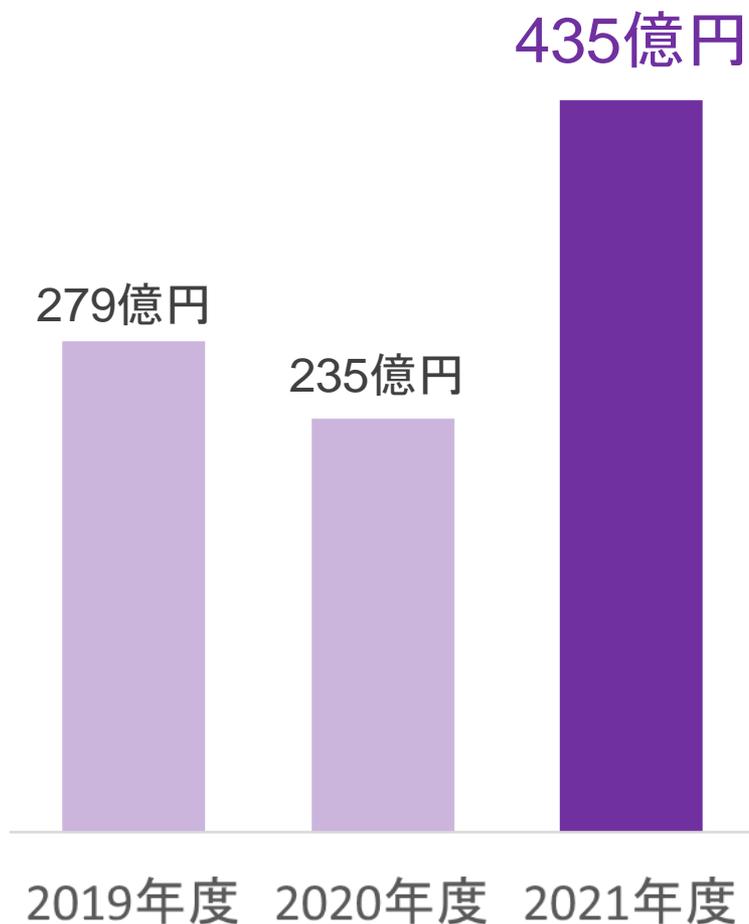
<売上高>

前年度比+25%

増減要因

- (+) 需要回復等により計測関連商品、診断関連商品ともに出荷増加(バイオサイエンス)
- (+) ハイシリカゼオライト、ジルコニア、石英ガラスは需要の回復・増加により出荷増加(高機能材料)
- (+) エチレンアミン・臭素は国内外ともに出荷増加。海外市況上昇により製品価格が上昇。(有機化成品)
- (+) 為替の影響(円安)

数量差: +299億円
 価格差: +157億円



< 営業利益 >

前年度比 **+85%**

増減要因

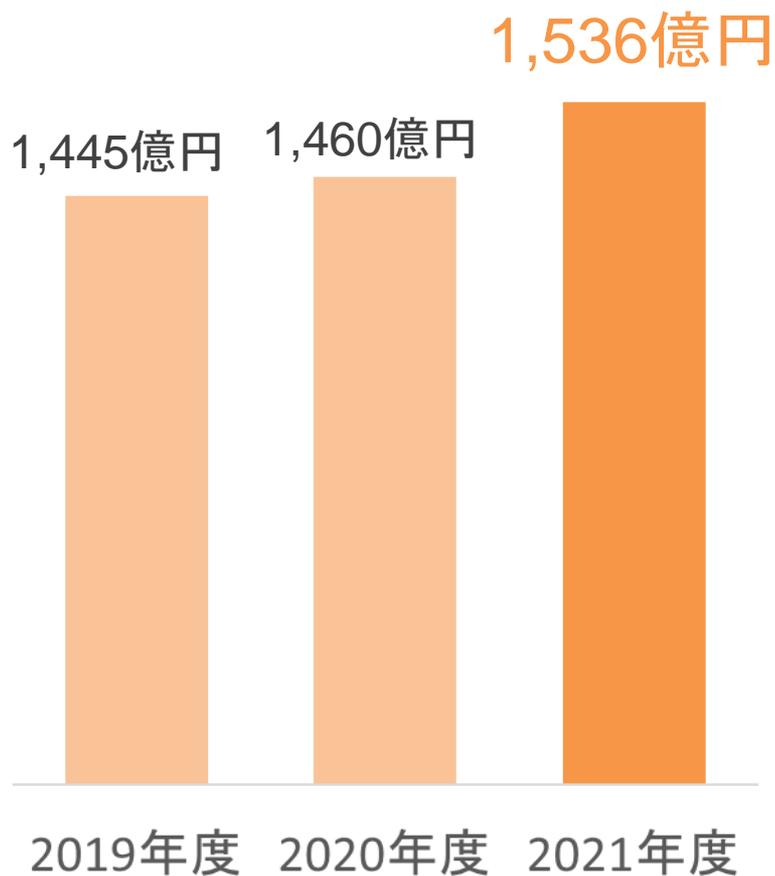
- (+) 需要回復等による販売数量増加
- (+) 為替の影響(円安)

数量差: +117億円
交易条件: +65億円
固定費差他: +18億円



2021年度
売上高 1,536億円
営業利益 153億円

水処理、プラント建設(エンジニアリング事業)や商社、物流、分析・検査、情報システムなどの事業を展開



<売上高>

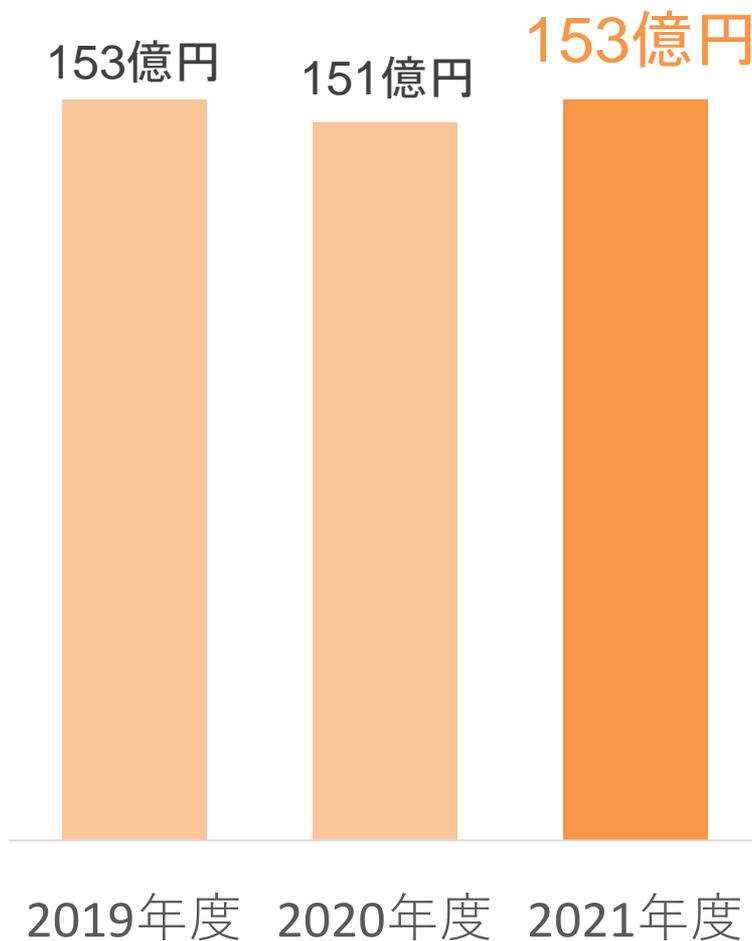
前年度比 **+5%**

増減要因

- (+) 電子産業分野における水処理事業(エンジニアリング部門)の売上増加
- (+) 為替の影響

数量差: +31億円

価格差: +44億円



< 営業利益 >

前年度比 **+1%**

増減要因

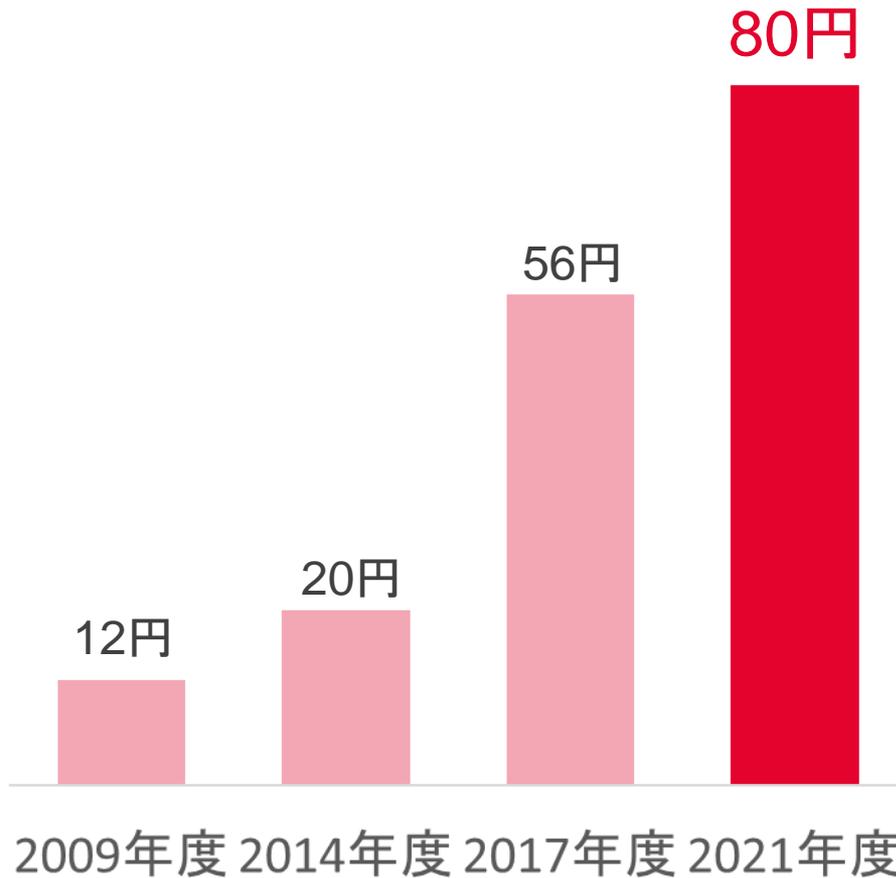
(+) 電子産業分野における水処理事業(エンジニアリング部門)の売上増加

数量差: +3億円
 交易条件: 0億円
 固定費差他: 0億円

1. 会社概要
2. 事業概要
3. **株主還元**
4. 温室効果ガス排出削減への取組み

<株主還元 基本方針>

- **安定配当**の継続
- 配当性向は**30%**程度を目安
- 配当は期間業績、フリー・キャッシュ・フロー、将来の事業展開などを総合的に勘案して決定



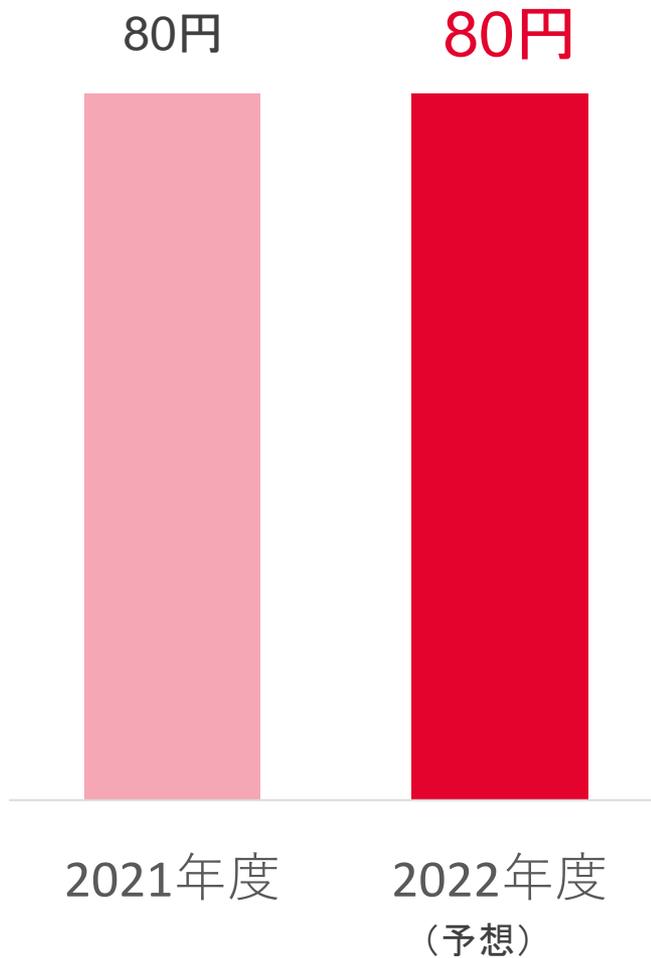
<還元方針>

安定配当の継続

13期連続で減配なし

配当性向30%を目安

2021年度 23.6%



安定配当の継続

通期業績予想は「未定」であるが、
当社の財政状況を勘案すると、
現行の配当水準の維持は可能と判断

1. 会社概要
2. 事業概要
3. 株主還元
4. 温室効果ガス排出量削減への取組み

温室効果ガス排出量削減の取組み①

東ソーグループ
温室効果ガス排出量

824万トン



30%削減

カーボンニュートラル
への挑戦

2018年度
基準年

2030年度
目標

2050年
目標

2030年度

温室効果ガス(GHG)排出量を
2018年度比で**30%**削減

2050年

カーボンニュートラル
への挑戦

温室効果ガス排出量削減の取組み②

2030年度の目標達成に向けて、

約**1,200**億円の温室効果ガス排出量削減投資を計画
(うち、2022年度-2024年度で約600億円の投資を計画)

2030年度
目標
30%削減

2050年
目標
カーボンニュートラル
への挑戦

省エネルギーの推進

エネルギーの低炭素化

エネルギーの脱炭素化

CO2回収/有効利用

CO2回収/有効利用の拡大

ポートフォリオの再編

温室効果ガス排出量削減の取組み③

東ソーグループは、サステイナブルな製品・技術の提供を通じて温室効果ガス排出量の削減にも貢献していきます。

製品・技術	社会貢献
硬質ウレタンフォーム(断熱材) 塩化ビニル(樹脂サッシ)	高性能な外壁断熱材や断熱窓の素材の提供を通し、省エネ住宅やネットゼロエネルギーハウスの普及に貢献。
CO ₂ 回収用アミン ※第21回グリーン・サステイナブル ケミストリー賞 「奨励賞」を受賞	燃焼排ガス中のNO _x 等に対して劣化が少ないことから、幅広い燃焼排ガスのCO ₂ 回収に適用可能。
省エネルギー型電解槽の技術	苛性ソーダ製造用のイオン交換膜法食塩電解槽の技術を共同開発し、国内外の企業にライセンス供与することで省エネに貢献。

当社は、社会課題の解決に貢献する製品を数多く提供しています。



塩化ビニル樹脂

塩を主原料とした省資源型の樹脂。製造時のCO2排出量も少なく地球環境にやさしい素材。



CR(クロロプレングム)

丈夫で長時間の作業に適している高品質な医療用手袋材料として使用。



EVA(エチレン酢ビコポリマー)

太陽電池のセルを保護・封止する部材(フィルム)として使用。CO2を発生しない再生可能エネルギーの普及に貢献。



当社は、社会課題の解決に貢献する製品を数多く提供しています。



重金属処理剤

ごみ焼却灰や排水に含まれる有害な重金属を不溶化する処理薬剤。産業廃棄物、排水、汚染土壌などの処理で、人と環境にやさしい薬剤として使用。



新型コロナウイルス検査試薬

ウイルスを高感度かつ簡単な操作で検出が可能のため、検査作業の効率化、検査従事者の作業負担を軽減。新型コロナウイルス抗体検出試薬および抗原検査試薬も開発。



石英ガラス

エレクトロニクス産業を支える高純度・高品質な高機能ガラス。半導体や液晶の製造装置に欠かせない部材として情報化社会に貢献。



ESG投資インデックス



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



2021



Sompo Sustainability Index

主な社外評価



CDP2020気候変動で「A-」、
水セキュリティで「B-」取得



2022
健康経営優良法人
Health and productivity



当社WEBサイト(<https://www.tosoh.co.jp/>)にて適時開示資料等を掲載しております。



ご清聴ありがとうございました。

“明日のしあわせを化学する”

世の中のしあわせの輪を広げていくために、
私たち東ソーは、化学の領域を日々革新していくことで、
よりよい明日に向けて、社会に貢献していきます。



東ソー株式会社

TOSOH